

令和5年度第3回江別市スポーツ推進審議会開催結果

1. 開催日時

令和6年2月20日(月)午前10時30分～午前11時15分
江別市教育庁舎大会議室

2. 出席者

・スポーツ推進審議会委員:10名

古川孝行会長、花井篤子副会長、安田敏昭委員、小林照美委員、佐藤誠委員、柴田宏樹委員、竹内由紀子委員、石崎朋子委員、小川泰雅委員、五十嵐拓也委員
(欠席:奥村翔委員)

・教育委員会事務局:4名

伊藤教育部長、佐藤教育部次長、堀井スポーツ課長、井上スポーツ係長

3. 開催結果

(1)開 会

委員の過半数の出席を確認し、スポーツ課長が開会を宣言。

(2)あいさつ

教育部長・古川会長からあいさつ

(3)報告事項

①第7期江別市スポーツ推進計画の策定について

○事務局(スポーツ課長)

報告事項(1)の第7期江別市スポーツ推進計画の策定について報告する。本計画の策定については、昨年2月20日に、教育委員会からスポーツ推進審議会に諮問され、以降、当審議会において、慎重に審議され、11月13日に開催した前回審議会において計画の策定についての答申内容がまとまったことから、12月20日に当審議会を代表して、古川会長と花井副会長から教育委員会に答申書の提出を頂いたものである。

この答申を受け、教育委員会で協議・審議を行い、本年1月31日に開催された定例教育委員会において、計画の策定について、教育委員会の承認を得た。

別冊として配布した計画については、製本後、3月下旬予定になるが、関係団体に配布するほか、公共施設等への配置、市のホームページでの公開を予定している。

計画の策定に当たり、委員の皆様にも多大なるご尽力をいただいたことに、改めてお礼を申し上げ、報告とする。

(質疑等 → なし)

報告事項② 令和5年度江別市青少年スポーツ賞、スポーツ奨励賞、及び教育委員会表彰について

○事務局(スポーツ係長)

これらの賞は、スポーツ大会において優秀な成績を収めた青少年を表彰するものである。

資料1ページをお開き願う。

各賞の選考の基準等を掲載している。スポーツ賞は、全国大会で3位以内、通算2年以上の入賞、全国記録の更新となり、スポーツ奨励賞は、全道規模の大会で優勝、全道記録の更新、教育委員会賞は、全道規模の大会等で2位又は3位という基準となっている。

資料の2ページから6ページに各賞の受賞者一覧を掲載しているので、後ほどご確認願う。

7ページをご覧ください。今年度、スポーツ賞は、6個人、3団体の計9件、スポーツ奨励賞は、21個人、11団体の計32件、教育委員会賞は、14個人、10団体の計24件となり、本年度、各賞を合わせた受賞数は、個人41件、団体24件の計65件となった。

なお、本年度の贈呈式は、2月23日(金祝)に、えぼあホールで開催し、市長並びに教育長から各賞の贈呈を行う。来賓として当審議会の古川会長にもご臨席いただく予定である。

(質疑等)

○花井委員

さまざまなスポーツで大変優秀な成績をあげている方がいて、大変素晴らしいと思う。参考として聞きたいが、江別市の中高生で競技人口が多い種目は何になるか。

○事務局(スポーツ係長)

資料が手元に無く、印象で申し訳ないが、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの活動が活発だと感じている。

○古川委員

前年度受賞した人は対象にならないのか。

○事務局(スポーツ係長)

同一の種目で同一の賞、または過去に受賞したよりも下位の賞を受賞することはできない。違う種目ならば対象となる。

報告事項③ 令和6年度スポーツ関係予算について

○事務局(スポーツ係長)

資料8ページをご覧ください。

令和6年度のスポーツ関係予算について、主だったところの予算を掲載している。前年度と変更のある事業や予算の増減が大きい事業について、説明する。

上から1番目の「学校プール開放事業」では、これまで市直営で事業を運営していたが、安全性の向上を目的として、警備員指導教育責任者資格者のいる警備業の認定を受けている事業者に委託する方式に見直しを図る予定である。

5番目の「市民体育館改修整備事業」では、今年度に給水設備改修工事と柔剣道室の床改修工事を行ったが、来年度は管理棟外部等の改修工事を行う予定である。

次の「東野幌体育館整備事業」では、体育室の床改修工事を行う予定である。

下から2番目の「トップアスリート交流推進事業」は、日本代表及びプロ相当クラスの団体への合宿支援やトップアスリートと市民が交流するための機会を提供する事業で、来年度は日本水泳連盟等により水泳の日2024という全国規模のイベントが江別で開催されることから、このイベントへの支援も行う予定である。

これらの予算については、3月の定例市議会の議決を経て、新年度予算として措置されることとなる。

(質疑等)

○事務局(スポーツ課長)

ただ今の説明について、補足する。

トップアスリート交流推進事業で説明があった「水泳の日2024」だが、開催日は、令和6年9月22日(日)、会場は道立野幌総合運動公園のプールを予定している。

このイベントは、水泳の普及・発展、競技力の向上、競技人口の裾野を広げるきっかけとすることを目的に、日本水泳連盟ほか水泳関係団体の主催で開催

されるもので、平成27年度から行われているイベントである。

これまで、東京、大阪、名古屋等、主要都市で開催されており、昨年度は広島市で開催された。

当日は、今年開催予定のパリオリンピックに出場した選手による水泳教室などが予定されており、市内外から多くの来場者が見込まれる。

江別市では、市民がスポーツに取り組むためのきっかけづくりや技術力の向上、そしてシティプロモートの一環として、このイベントに協力する予定である。

(質疑等 → なし)

(4)その他

○議長(古川会長)

以上をもって、予定していた議題は終了したが、今年度最後の審議会でもあり、せっかく皆様に集まって貰ったので、何か意見や質問があれば。

○五十嵐委員

スポーツ賞等の表彰について質問だが、推薦主義を取られているということで、団体が加盟している組織が江別市であることが必要か。「北海道ドッジボール協会」というように北海道としか組織が無い場合はどうなるか。

また、該当となる団体に所属している子が複数の学校にまたがっている場合などは、どこに主体となって推薦をしてもらえば良いか。

○事務局(スポーツ係長)

先にどこに主体となって推薦をしてもらえば良いかだが、どの学校からでも良い。ただ、確実なのは団体から教育委員会に相談を貰って、教育委員会からの推薦にするのが良いと思われる。

また、団体の活動場所が江別ならば、組織が北海道でも問題は無い。ただ、これも事前に団体から教育委員会に相談を貰うのが確実である。

○古川委員

いまの質問に関連するが、市外の団体で主たる活動場所も市外で、ただ江別市の子が所属している団体は表彰の対象になるか。

○事務局(スポーツ係長)

主たる活動場所が市外の場合は、その団体は対象にならない。

○古川委員

所属する子どもの数が少なくなり、単独団体でのやり練りが難しく、複数の団体が合同で大会に出場するケースなどもでてきている。

その場合には主たる活動場所の判断などが難しくなるのではないか。

○事務局(スポーツ係長)

複数の団体の合同チームなどの場合は、その時折の状況で判断となるが、例えば今回の表彰では、教育委員会賞で大麻中・中央中・新篠津中の野球部の合同チームが対象となっている。

○安田委員

地域クラブについて、江別市はどのような考えを持っているか。

○事務局(スポーツ係長)

学校部活動と地域クラブとの今後の関わりという意味ならば、現在、部活動の在り方検討委員会や関係者によるワークショップを開催して、今後の方針について話し合いがなされている状況である。

また、一般的な地域クラブへの考え方という意味ならば、学校体育館の開放などによる活動場所の支援、スポーツ協会を通じての指導者等の養成への支援等を行っており、今後も継続していく予定である。

○小林委員

これはお願いになるが、現在、軽スポーツを含め、多種多様なスポーツが色々な人達で行われている。財団の教室もあるが、いつも同じような人が参加しているように感じられる。スポーツをする人を増やすためにも、単独の教室ばかりではなく、イベントなどで色々なスポーツを体験できるようなことが体験型のものを増やしてほしいと思う。

○古川委員

各団体でも体験型の教室など、初心者の方への啓蒙活動は色々やれているところもあれば、やれていないところもあると思う。例えば、バレーボールはどうですか(竹内委員に。)

○竹内委員

バレーボールでは体験という活動はなかなかやれていない。ボールも固いので全くの初心者の方となると怪我をする心配がでてしまう。昔、経験した方にまたやりませんかと呼びかけをしたりはしているが。

○小林委員

軽スポーツやニュースポーツなどで手軽にできるものもたくさんあるので、バレーボールやバスケットなど本格的なスポーツにこだわらなくても、色々なスポーツが体験できる場があれば良いと思う。用具の関係もあり、難しいかもしれないが、そういう面でも取り組んでいけたら良いと思う。

○古川委員

各競技団体でも体験型の教室などを行っているところもある。ラグビーとか、バドミントンなど。ただ、経験者の大人相手になってしまうことも多い。

スポーツ協会にも各団体で体験活動などの取り組みの工夫をどうだろうかということ相談してみたいと思う。

いずれにせよ、スポーツ振興財団でもそういう取り組みは行われているし、今回の計画でもきちんと織り込まれていることから、関係する団体で協力し合って進めていってほしい。

○事務局（スポーツ課長）

いまのところ、財団と協力して行っている教室は、健康を目的とするものが多いので、異なる視点からスポーツの楽しさを広めることを目的とした体験会のようなものできないか、財団と相談していききたいと思う。

○古川委員

先日、飛鳥山公園で行われた冬のスポーツまつりでもそのイベント会場でゴルフポッカ体験が行われていた。健康福祉の部局で行っているEリズムという体操があるが、ああいうものを何かのイベントの隙間の時間とかで紹介して、スポーツを広めるなど、あらゆる機会を利用していくのが良いと思う。

○議長（古川会長）

なにか他にあるか。

○事務局(スポーツ係長):

次回の江別市スポーツ推進審議会だが、8月頃の開催を予定している。

○議長(古川会長)

以上をもって、令和5年度第3回江別市スポーツ推進審議会を閉会する。

(5)閉 会(午前11時15分終了)